

はこぶねEマガジンをご覧の皆さま！

ご無沙汰してます！

いつもお祈り感謝です。

私は自分で予想するに、この一年、今までで1番タフな一年になるのではないかと予想しております。というのも、昨シーズンは神さまが誠実な御手をもって導き、私たちのチームは昇格を掴み取ったのです。シーズンが終わる頃にはこの恵み深い神さまに感謝し、とても喜びを覚えておりました。しかし、またすぐに次はやって来るんですね。今度上がったカテゴリーは私たちのチームにとって歴史上初めての舞台です。私たちはチャレンジャーでした。スポーツは勝負の世界です。プレッシャーだらけです。結果を出さなければならない世界です。いつでも神さまの恵みが私には必要だと思わされます。

先日、今シーズンの開幕戦がありました。昨シーズン、私は生きた神が私たちを導いておられることを知りました。神さまが恵みを注がれたことを、しっかりと経験しました。それなのに、私は少しばかり不安が残っていました。私は自分で「私の信仰はどこにあるんだろう。昨年確かに経験したはずなのに。なぜ不安な思いが出てきてしまうのだろう」そんな風に思いました。ちょうどその時でした。私の日々の聖書通読の箇所は、出エジプト記にやってきました。神さまはアブラハムに約束された土地へイスラエルの民を導くべく、四百年たった後、奴隷だったイスラエルの民をエジプトから救出したシーンを私は読んだのです。

エジプトから救い出された時、モーセとイスラエルの民は歌いました。「あなたが贖われたこの民を、あなたは恵みをもって導き、御力をもって、あなたの聖なる住まいに伴われた。」(出エジプト記15:13)

私は思い出しました。私は奮い立ちました。ついには、不安がなくなりました。そして、開幕戦。私たちは試合に勝利しました。チームの誰もが驚いたのではないかと思います。まさに快挙でした。同時に、私は主が導かれてることを忘れ疑ってしまったこと不安になったこと申し訳なく思いました。しかし、主は偉大なあわれみをしめし、恵みをもって贖われた私を導いてくださいました。

主はどこまでも恵み深い。

この恵みをもっと深く味わいたい。

主の御名をほめたたえます。



2022.3.3 野澤大志ブランドン